



やませみ



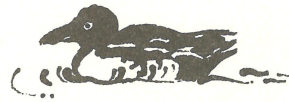
もくじ

- 天覧山・多峯主山の四季 ～霜景色の号～ 市川和男
- 年頭に寄せて／浅野正敏
- 2006年のあゆみ
- 第2回 守る会主催エコツアーin東やつ ミニ写真集
- 日よう日ふるさと散歩のお知らせ ●編集後記
- ※当会のホームページアドレスが変わりました。

<http://www.tenranzan.com/>

編集後記 FROM EDITOR

郵便振替入金をしようと、うる覚えではあったが散歩がてら近くの郵便局へ出かけた。15分ほどで着くはずが20分以上歩いても見つからない。通りの店で聞くと、郵便業務を請け負っていた農協ともども合併で移転したということで、一番近い郵便局まで車で15分くらいかかると教えられた●車椅子を使っておられるそのお店の方は、以前は自分でできた郵便局の用が、移転後は店番を頼むか、誰かに行ってもらうかして、人の手を頼まなければなら



なくなると嘆かれた。郵政民営化とはこういうことだったのか、とあらためて実感する●医療も自己負担が増え、ますます増える高齢人口とは逆に、公立の病院は減らされようとしているが、一方では医療特区ができている。医療の2極化が進む●誰もが年をとり、病気にもなる。心細い時にこそ、手厚い国であって欲しいと願う。大切にするべきは国なのか、そこに生きる人なのか。選挙ではっきりと示す年としたい。

林 伸子 (守る会 会員)

やませみ

48

発行日/2007年1月1日

編集・発行/NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会
事務局/TEL042-974-1691(浅野正敏)
埼玉県飯能市柳町18-17

- 申し込み用紙や機関誌「やませみ」は「銀河堂」「Cafe豆さる」にあります。
- 「やませみ」へのご意見をお寄せください。投稿もお待ちしております。

URL=<http://www.tenranzan.com/>
E-mail=tenta@tenranzan.com



会員募集中!!

1995年2月、西武鉄道による巨大団地開発の計画がきっかけとなり「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」は、この地の自然をいつまでもという思いで、様々な活動を続けています。どうぞあなたも会員になって活動を支えてください。

*年会費

- 正会員 普通会員 2000円
- 特別会員 10000円
- 賛助会員 1口 10000円

*会費・カンパ送り先

郵便振替口座「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」 00580-9-16342

日よう日ふる里散歩

当会では天覧山周辺の自然に親しんでいただくために毎月「ふる里散歩」を開催しています。お気軽にご参加ください。(雨天中止)



◆3月11日(日)

「ホテルの里の水辺作りツアー-3」
大人2000円 子ども500円
要予約
(詳細は浅野まで042-974-1691)

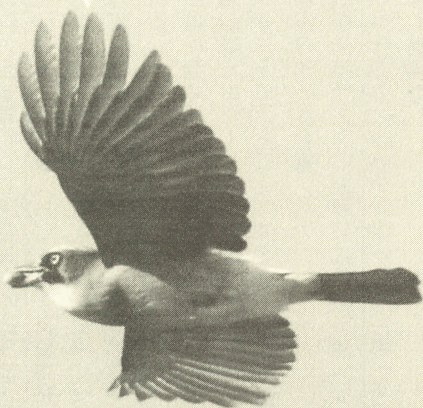


◆4月8日(日)

「さくらさくら山桜の巻」
集合 能仁寺山門前 午前9時30分
参加費 保険料&ガイド料 300円
(小学生以下100円)



共催/はんのう景観トラスト、(財)埼玉県生態系保護協会飯能名栗支部
4月8日は、はんのう市民環境会議と共催



どんぐりをくわえて飛ぶカケス



紅葉も終わり最低気温が5℃を下回る穏やかな星空の下、地表は放射冷却によって冷やされ、里山は霜化粧の静かな朝を迎えます。雑木林の林床ではコウヤボウキが見事なドライ・フラワーとなり、枝に残るヤマコウバシの枯葉だけが朝陽に照らされ、雑木林にコントラストを添えています。

雑木林を抜け、天覧入りの湿原を進むと時々「フィー、フィー」と口笛に似た声が草薺から聞こえてきました。そっと首に下げた双眼鏡を草薺に合わせ

ると、いました。7羽のウソの群れです。ウソは草薺に横たわるススキの茎につかまり、茎に絡んだカナムグラの穂先をついばんでは小さな嘴の中で種子だけを取り出し食べています。群れの中にはローズピンクに頬を染めた3羽の雄が見えます。きっと、カナムグラがビールの苦味に使われるホップの親戚だから……そんなウソも簡単に通じてしまうほど見事なローズピンクの頬をしていました。

陽が高くなるにつれて霜は溶け、雑木林の陽だまりには暖かな空気が流れ始めました。その上空を「ジャッ、ジャー」と鳴きながら黒い影が通過していきます。カケスです。1羽、また1羽、今度は2羽、カケスは後を追うように次から次へと続き、谷の暗い樹林の中へと入っていきます。20分も経過したでしょうか、今度は暗い樹林から1羽、また1羽とカケスが出て、明るい雑木の中へと入っていきます。すると、別のカケスがまた暗い樹林の中へと逆のコースを辿ります。飛んでいるカケスをよく眺めると、暗い樹林からやって

くるカケスは皆、嘴に何かを咥えています。双眼鏡で眺めてみると、どうも咥えているのはどんぐりのようです。カケスは長い冬に備え、食料であるどんぐりを運んでいたのです。ニホンリスやアカネズミ、カケスやヤマガラなどは木の実が熟すと土の中や落葉の下、樹上の隙間などに運び、冬に備え蓄えます。ツキノワグマなど、動物によっては冬が来る前に喰い貯めて脂肪として体内に蓄積させ冬眠する動物もいますが、エネルギー代謝の高いリスや鳥類は冬眠できず、また、体に脂肪をつけた状態では動きも鈍く外敵から狙われやすくなります。カケスは木の実を生活圏内に分散貯蔵することで冬を快適かつ安全に過ごすことができるのです。カケスのはのど袋にどんぐりをたっぷり詰め込み、最後にもう一つ嘴に咥えて樹林から樹林へと運んでいたのです。食べきれずに残されたどんぐりはやがて春に発芽し、どんぐりの森は広がります。リスやカケスは森創りにも貢献しているのです。

市川 和男 ((財)日本生態系協会会員)

天覧山・多峰主山の四季～霜景色の号～



◆年頭によせて◆ たくさんの人たちの想いを寄せ合い、再出発の年!

当会は、バブル景気崩壊後の1995年に始まった自然環境保全の市民運動でありましたが、発足以来10年目(2005年1月)に天覧山・多峯主山周辺に計画されていた団地開発が撤回され、最大の目的が達成されました。その後、会では確実に豊かな自然環境を後世まで保って行けるよう活動を続けてゆくことを決め、2006年12月よりNPO法人として再スタートを切ることになりました。

ホタルの里の湿地環境再生に向けて

開発の止まった天覧山・多峯主山周辺の一画(通称ホタルの里)を地権者(西武鉄道)より飯能市が借り受け、市民の里山として豊かな自然環境を保全して行こうという具体的な話が進んでいます。ホタルの里の湿地環境再生作業(草刈りや田圃づくりなど)の取組みには、自治会や学校など、より多くの市民の参加が望まれるところです。そうした広がりを持たせる役目を担うのが「はんのう市民環境会議」です。当会も市民環境会議の登録団体として連携を図っており、里山環境づくりに主体的に取り組んでいるところです。多くの市民の参画を進めてゆく中では、保全の方法や考え方の違いが出てくると思いますが、議論を重ね、最終的に合意を得て、皆で守るべき事項を文章にまとめておくことがとても大切になって来ます。これまで当会がまとめてきた「保全案」をより多くの市民と共有したものにしてくのが、NPO法人スタートに当たっての重要な事業の1つとなります。

「てんた里山基金」の設立

イギリスでは100年以上も前に、失われゆく美しい自然環境や歴史的な建造物を守るため、国民主体の買い取り・寄贈・遺贈による保護管理を行う「ナショナル・トラスト」が発足しました。「ピーター・ラビット」で有名な湖水地方の景観が「ナショナル・トラスト」によって残されているのは有名です。このナショナル・トラスト運動は日本においては、1964年鎌倉で保護運動が立ち上がったのが最初です。以後、全国各地で運動が広がっていますが、近くで

は狭山丘陵にあるトトロの森のトラスト保全が有名です。

当会ではこれまで、天覧山北東側にある休耕田(東やつ)の一画を借り受け、米づくりや溜め池づくりを行うなど、里山環境の持続可能な方法を実践して来しました。この土地について、地主さんとの協議の上、恒久的に環境維持を図ってゆくために当会が買い取り、保全してゆくナショナル・トラスト運動を展開してゆくこととなりました。土地取得後は市民誰もが訪れ、楽しむことができるようにしていきます。

つきましては、「てんた里山基金」を設立しましたので、皆さんからの寄付のご協力をお願いする次第です。「1人の1万ポンドの寄付よりは、1万人の1ポンドずつ」がナショナル・トラストのモットーです。たくさんの人たちの想いが込められた支援が頂けたら幸いです。

◇「てんた里山基金」郵便振替口座
NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会
00580-9-16342

奥武蔵鳥瞰図の完成

美しい早春の天覧山・多峯主山を中心に飯能市街地から奥武蔵一帯を網羅する大パノラマの絵図が完成しました。この鳥瞰図は、これからもずっとこの豊かな自然環境を大切にしてくこうという気持ちにさせてくれます。これは数年前から画家・友利宇景氏に依頼していたもので、NPO法人としてのスタートに記念すべき作品となりました。

この「奥武蔵鳥瞰図」をA1版サイズ1部1000円(A2版サイズ1部800円)で販売致します。収益金は全て自然環境保全のための活動資金に当てられますので、ご購入の協力をよろしくお願い申し上げます。

年頭に当たり、NPO法人スタート事業を紹介しましたが、天覧山・多峯主山を中心とした美しく豊かな自然環境が永久に守られて行きますことを願い、これまでの事業を継続すると共に、更なる保全活動を広げて行きたいと思っています。

◇「奥武蔵鳥瞰図」申し込み先 久下まで
電話・042-972-0307
FAX・042-972-0308

NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会
代表理事 浅野正敏

2006年守る会のあゆみ

1月1日	・ふるさと散歩「初日に祈る山歩き」の巻	
1日	・やませみ45号発行	
18日	・西武鉄道との面談(里山環境の保全と手入れについて) 飯能市担当職員同行	
22日	・奥むさし環境講座「自然環境保全型のNPOを学ぶ」	
2月11日	・谷津田の手入れ作業(エコツアー準備作業)	
12日	・ふるさと散歩「冬山のバードウォッチング」の巻※	
	・「地球交響曲第5番」上映会 守る会後援	
3月1日	・市民案づくり	
4日	・ふるさと散歩「ホタルの里の水辺づくりツアー」の巻 環境省エコツーリズム推進モデル事業として実施	
7日・9日	・「ホタルの里の水辺づくりツアー」NHK番組にて放映	
26日	・谷津田の手入れ作業	
31日	・武蔵丘地域が市街化調整区域に正式編入される	
4月9日	・ふるさと散歩「さくら、さくら、山桜」の巻※	
16日	・総会、懇談会	
30日	・谷津田の手入れ作業	
5月10日	・第一小学校4年生総合学習支援(室内)	
14日	・ふるさと散歩「新緑の多峯主山を歩く」の巻※	
15日	・やませみ46号発行	
	・第一小学校4年生総合学習支援(フィールド)	
26日	・パノラマ風景画家・友利宇景氏に「奥武蔵鳥瞰図」制作依頼	
6月26日	・谷津田の手入れ作業	
26日	・ふるさと散歩「ホタルの夕べ1」の巻	
7月2日	・ふるさと散歩「ホタルの夕べ2」の巻	
24日	・谷津田の手入れ作業	
31日	・現地調査と市民案づくり	
8月1日	・(財)自然保護助成基金に応募申請提出	
6日	・ふるさと散歩「水と遊ぼう」の巻※	
8日~13日	・エコツアー写真展、ギャラリー・ゼフィルスにて	
25日~27日	・世界の大昆虫展&里山の虫たち、 ギャラリー・ゼフィルスにて	
27日	・谷津田の手入れ作業	
9月17日	・ふるさと散歩「秋の草花をみよう」の巻※	
25日	・谷津田の手入れ作業	
10月1日	・臨時総会(NPO設立総会)、スライド上映会、懇談会	
4日	・NPO法人認可申請提出	
12日	・ホタルの里保全について飯能市環境緑水課との打合せ	
15日	・やませみ47号発行	
21日	・谷津田の手入れ作業(エコツアー準備作業)	
29日	・ふるさと散歩「ホタルの里の水辺づくりツアー2」の巻 環境省エコツーリズム推進モデル事業として実施	
11月12日	・ふるさと散歩「クマタカが見えるかも?」の巻※	
22日	・飯能市市議会全員協議会において、飯能市は、天覧山周辺 32,8haを景観緑地に指定する方針を発表	
24日	・理事会	
26日	・谷津田の手入れ作業	
12月3日	・ふるさと散歩「山の恵みでリース作り」の巻	
25日	・谷津田の手入れ作業	

*この他に、毎月2回の定例会、やませみ編集会議、やませみ配布、ホームページ更新などを実施。
*表中の※印は、「はんのう市民環境会議」との共催事業。

10月29日守る会主催 第2回エコツアーが 開催されました。

作業は、雑木林の斜面の下刈りと

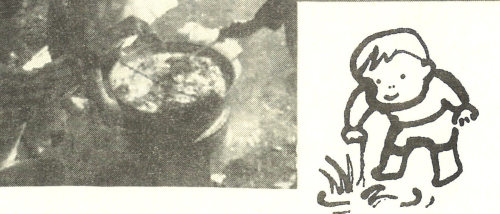
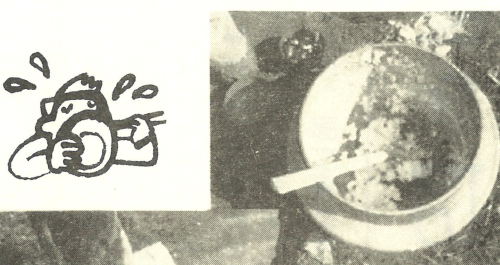


休耕田に作ったため池を、
イノシシから守る畦作りに分かれ



どろんこの中で
作業しています。

昼食は、会で用意したムカゴご飯と豚汁



午後は笹も刈りました。



おやつには飯能名物
「みそつけだんご」を食べて
今日の作業はここまで。
参加した皆さんご苦労様でした。